

## 情報セキュリティ基本方針

当社は、“情報システムの受託開発、自社開発 IT サービス（自社アプリケーション）の提供”を実施する企業として、お客様からお預かりする情報資産、当社で管理する情報資産保護のために、情報セキュリティ方針を策定し、順守し、情報資産を正確かつ安全に取扱うことによって、お客様の信頼を守り、その信頼に応えます。

### 1. 適用範囲

本基本方針は当社が事業活動の中で取扱う「情報資産」を対象とします。情報資産とは、当社が保有または運用管理する情報、データ及び情報システム、ネットワーク、設備とし、有形、無形に関わらず、事業を展開する中で当社が必要と判断する全てのものを対象とします。

### 2. 情報セキュリティ体制の構築

当社は、社長を中心として情報セキュリティマネジメントシステムの体制を整え、情報セキュリティの維持、向上の取組みを行うものとします。また、これらの取組みを定期的に監査し、改善する体制を整備します。

### 3. 情報セキュリティに関する内部規程の整備

情報セキュリティポリシーに基づいた内部規程を整備し、個人情報だけでなく、情報資産全般の取り扱いについて明確な方針を示すとともに、情報漏洩などに対して厳しい態度で臨むことを社内外に周知徹底します。

### 4. 情報資産の保護

当社は、保有する全ての情報資産を機密性、完全性、可用性の視点から重要性を認識するとともにリスクの評価を行い、情報セキュリティ体制のもと適切に情報資産を保護します。

### 5. 情報セキュリティ教育・訓練の実施

当社は、役員及び従業員において、情報セキュリティへの取組み及び向上を目的として、積極的に教育活動を行うものとします。

### 6. セキュリティ事件・事故の対応

当社は、セキュリティ事件・事故が発生した場合、またはその予兆があった場合、速やかな対応及び手続きを行うように取り組みます。

### 7. 法令・規範、要求事項の遵守

当社は、当社が取り組む情報セキュリティに適用される全ての法令及び規範を遵守し、情報セキュリティに適用される要求事項を満たします。

### 8. 見直し及び改善

当社は、経営方針の変更、事業内容の変更、社会的変化、技術的变化、法令等の変更などに伴い、本方針及び当社の情報セキュリティマネジメントシステムを定期的に見直し、改善を行っていきます。

制定 2019年12月18日

改訂 2020年4月1日

株式会社メビウスボックス

代表取締役 湯浅 清

## クラウドセキュリティ基本方針

当社のクラウドサービスは、サービスプロバイダとして、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」企業として、当社サービスにおける情報セキュリティ上のリスクを管理し、適切な対策を行い、サービス提供を行うため、ここにクラウドセキュリティ基本方針を示します。なお、「クラウドセキュリティ基本方針」は「情報セキュリティ基本方針」の下位方針としています。

1. クラウドサービスの設計、及び実装に適用する情報セキュリティ要求事項を定め、サービス開発、提供を行います。また、当社が利用するクラウドサービスに対し、当社の情報セキュリティ要求事項を満たすか評価し、適切なクラウドサービスを選択、利用します。この評価は定期的に実施します。
2. クラウドサービスに関連する情報セキュリティリスクを評価するとともに、定期的にリスクアセスメントを実施します。また、その結果に基づき、適切な情報セキュリティ対策を実施します。
3. 利用するクラウドサービス上などに保存される情報（クラウドサービスカスタマのデータ及びクラウドサービス派生データ含む）及び関連資産を、情報資産として適切に管理します。
4. クラウドサービスにおけるインシデント発生時の連絡体制をクラウドサービスカスタマに対し開示します。また、インシデントが発生した場合は速やかに対応を行うとともに、是正処置を講じます。
5. クラウドサービス特有の法的要求事項（適用法令、契約上の要求事項）について識別し、適切に管理します。

制定 2022年1月5日  
株式会社メビウスボックス  
代表取締役 湯浅 清